

1. 施設概要

施設名	高知市文化プラザ	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	高知市文化プラザ共同企業体		
指定期間	平成 24 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日	公募・指名の別	公募
設置目的	市民文化の継承と豊かで個性ある文化の創造を目指し、市民による文化・芸術活動及び生涯にわたる学習活動の展開並びに市民文化の振興に資する。		
業務内容	1 施設の利用に関すること (1) 使用の許可（文化プラザ条例第 5 条） (2) 使用の制限（文化プラザ条例第 6 条） (3) 許可の取消し等（文化プラザ条例第 8 条） 2 施設の維持管理に関すること ※ 中央公民館及び横山隆一記念まんが館を含む 3 その他管理運営に関し必要な業務（情報誌の発行やウェブサイトの作成、ショップの運営）		
施設内容	大ホール（1,085席）、大ホール楽屋等（7室）、リハーサル室（1室） 小ホール（200席）、小ホール楽屋等（3室） スタジオ・録音室（第1スタジオ、2スタジオ、録音室） 横山隆一記念まんが館、ミュージアムショップ 市民ギャラリー（第1・2・3・4・5展示室） 高知市立中央公民館（第1・2・3学習室、特別学習室、第1・2・3和室、茶室、調理室、絵画室、工芸室、彫塑・陶芸室、陶芸窯室、大講義室、音楽室、軽運動室） 駐車場（200台） レストラン、喫茶店 敷地内：北広場、西側駐輪場その他		
職員体制	常勤： 16 人	非常勤： 2 人	その他： 0 人 合計： 18 人

2. 利用状況

	H24 年度(1 年目)	H25 年度(2 年目)	H26 年度(3 年目)	H27 年度(4 年目)	H28 年度(5 年目)
利用者数	295,514 人	人	人	人	人
開館日数	314 日	日	日	日	日
利用率	大ホール 74.7%	大ホール %	大ホール %	大ホール %	大ホール %
	小ホール 80.5%	小ホール %	小ホール %	小ホール %	小ホール %
	展示室 75.1%	展示室 %	展示室 %	展示室 %	展示室 %
	スタジオ 79.8%	スタジオ %	スタジオ %	スタジオ %	スタジオ %
事業開催数	3				

※ [利用率算出方法の説明]

利用率＝使用日数（延べ使用日数）／使用可能日数（延べ使用日数）

3. 収支状況

単位：千円

	H24 年度(1 年目)	H25 年度(2 年目)	H26 年度(3 年目)	H27 年度(4 年目)	H28 年度(5 年目)
収入	指定管理料	187,529			
	利用料金収入	97,843			
	事業収入	0			
	その他	5,039			
	収入計	290,411			
支出	管理運営費	198,299			
	人件費	91,931			
	その他	0			
支出計	290,230				

4. 運営状況指標

	H24 年度(1 年目)	H25 年度(2 年目)	H26 年度(3 年目)	H27 年度(4 年目)	H28 年度(5 年目)
①事業収支（収入－支出）	180,254 円	円	円	円	円
②利用料金比率	33.7%	%	%	%	%
③人件費比率	31.7%	%	%	%	%
④外部委託費比率	24.6%	%	%	%	%
⑤利用者 1 人あたり管理費	982 円	円	円	円	円

5. その他特記事項

--

6. 評価結果

(1) 総合評価（審査委員会評価）

年度	総合評価	コメント（評価のポイント、課題及び改善点）
24	S	引き続き指定管理者に指定されており、前回指摘した事項について改善され、総合的には良好な管理運営がなされていると考えます。経年劣化等により施設修繕等の需要も増加していることから、安全面を最優先に、引き続き適切な管理がなされるよう期待します。
25		
26		
27		
28		

(2) 1次評価（施設所管課評価）

年度	1次評価	コメント（評価のポイント、課題及び改善点）
24	S	仕様書・事業計画書に沿った取り組みが実施されている。利用者によるアンケートではスタッフの対応が良いと評価されており、引き続き取り組んでいただきたい。厳しい状況にありながらも民間のノウハウを活かした経費削減努力を行い、効果を上げている。自主事業の開催回数は少なかったものの、開館 10 周年を迎えた文化プラザで、例年以上に関係機関に協力して文化の振興に貢献している。今後は施設の特性を活かして、利用収入を増やす新たな取り組みを打ち出すことを期待する。
25		
26		
27		
28		

(3) 自己評価（指定管理者自己評価）

年度	自己評価	コメント（評価のポイント、課題及び改善点）
24	S	開館 10 周年を迎え、例年以上に開催された公益財団法人高知市文化振興事業団の事業に対して多くの協力をした。また、地下駐車場の利用料金収入が減少し経営を圧迫したが、運営努力により黒字を実現した。開館 10 周年を迎え、不良箇所が多く発生する傾向にある中、共用部の電球を LED 化したり、自前修繕を大幅に増やすなど経費の縮小に努めた。自主事業は多くは行っていないが「階段コンサート」は、イベントとしての認識も定着し、マスコミに取り上げられる等、市民に興味を持ってもらうことができている。
25		
26		
27		
28		

平成 24 年度 指定管理者業務評価

7. 評価シート（自己評価・1次評価）

(1) 履行の確認

中項目	確認内容	自己評価	1次評価
①事業、業務の履行状況			
使用許可等	使用許可等申請、受付は利用統計等が作成され、適正に行われているか。	3	3
利用料金等の徴収状況	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行われているか。	3	3
苦情・要望への対応	苦情・要望処理の処理は適切か。	3	3
職員配置	基準に基づき、適切な人員配置がされたか。	3	3
職員研修	従業者に対し、施設の管理運営に必要な研修は実施されたか。	3	3
事業計画書	指定管理業務が事業計画書に沿っているか。	3	3
事業実施状況	事業の実施は仕様書等に適合しているか。	3	3
法令の遵守	法令に基づく検査、届出等はなされているか。	3	3
緊急時の対応	緊急時のマニュアルが整備され、従業者訓練の実施や事故発生時・緊急時の対応は適切か。	3	3
保険加入	仕様書等に定める保険に加入しているか。	3	3
個人情報	個人情報の取扱い、従業者への研修、漏洩した場合の対策がとられているか。	3	3
情報公開	保有する文書が分類・整理され、閲覧等の請求があった場合にに応じているか。	3	3
関係部署との連絡調整	公益財団法人高知市文化振興事業団と指定管理者との間で十分に連絡がなされているか。	3	3
報告書等の提出	業務及び経理の状況等に関し書類が整備され、市から求められた場合や定期報告等が、速やか、かつ、正確になされているか。	3	3
②施設の維持管理			
施設・設備の維持管理	施設・設備の維持管理基準が守られ、不具合が生じた場合は速やかに報告・対応しているか。	3	3
清掃業務の実施状況	清掃は確実にこなされているか。	3	3
警備業務の実施状況	マスターキー等の管理、警備業務は適切に行なわれているか。	3	3
廃棄物処理業務の実施状況	廃棄物処理は適切に行なわれ、運搬・処理を委託する場合は許可業者と契約しているか。	3	3
外部委託の実施状況	過度な外部委託は行なわれていないか。	3	3
備品管理等の実施状況	備品の管理・点検・保守は適切におこなわれているか。	3	3
20項目×3点=60点		60	60
		/	/
		60	60

評価基準（再掲）

点数	小項目の評価基準
3	概ね協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされ、適正であると認められる。
2	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされておらず、簡易な改善や一部目標の見直しを要する。
1	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営が殆どなされておらず、早急な改善が必要である。

(2) サービスの品質

中項目	確認内容	自己評価	1次評価
①維持管理業務			
経費節減の取り組み	設備管理・修繕等が計画的に実施されているか。	4	4
備品等の管理	備品等の保守点検・補充は計画的に実施されているか。	4	3
施設の維持管理	予防保全の考え方に基づき、設備機器の定期的な整備等（オーバーホールや部分取替え等）、適切な施設維持管理が実施されているか。	4	4
②運営業務			
利用案内	パンフレット・施設内利用案内・行事開催案内等は判り易く、使い易いものになっているか。	4	3
職員の接客態度	各担当者の接客態度は良好か。	4	4
利用者満足度の把握	利用者アンケート等が実施され、運営に反映されているか。	4	3
利用促進に向けた取り組み	利用者の増加や利便性を高めるための取り組みが行なわれているか。	4	3

各種事業の内容	自主事業は施設の設置目的に合致した事業であり、利用者が満足できる内容であったか。	4	3
市民サービスの向上	貸館等利用サービスや自主事業は市民サービスの向上につながったか。	4	3
文化行政への貢献	公益財団法人高知市文化振興事業団と連携をとりながら地域の文化振興に寄与する取組みがされたか。	4	4
10項目×4点=40点		40	34
		/	/
		40	40

評価基準（再掲）

点数	小項目の評価基準
4	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準以上の運営がなされ、優れていると認められる。
3	概ね協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされ、適正であると認められている。
2	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされておらず、簡易な改善や一部目標の見直しを要する。
1	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営が殆どなされておらず、早急な改善が必要であり、目標の全面的な見直しが必要である。

(3) サービスの安定性

中項目	確認内容	自己評価	1次評価
①事業収支の状況			
事業収支	事業収支が赤字の場合、黒字化のための改善策が実施されているか。	3	3
人件費比率	支出に占める人件費の割合が減らされすぎていないか。	3	3
外部委託費比率	支出に占める外部委託費の割合が過度に偏っていないか。	3	3
3項目×3点=9点		9	9
		/	/
		9	9

評価基準（再掲）

点数	小項目の評価基準
3	事業計画・収支計画等に基づく、経営がなされている。
2	事業計画・収支計画等に基づく、経営がなされているが、簡易な改善や一部業務の見直しを要する。
1	事業計画・収支計画等に基づく、経営が殆どなされておらず、早急な改善が必要であり、業務の全面的な見直しが必要である。

(4) 評価

評価分類	配点	換算率	総評点	ウェイト	1次評価 評点	1次評価 換算後 総評点数	評価
(1) 履行の確認	60	×0.450	27	54%	60	27	S
(2) サービスの品質	40	×0.450	18	36%	34	15	
(3) サービスの安定性	9	×0.600	5	10%	9	5	
合計	109	—	50	100%	103	47	

(評価基準再掲)

総評点数	46点以上	41点以上	36点以上	35点以下
評価	S	A	B	C
評価基準	適正に管理運営が行われており、優れた実績をあげている。	適正に管理運営が行われている。	概ね適正であるが、一部改善を期待する。	改善が必要である。